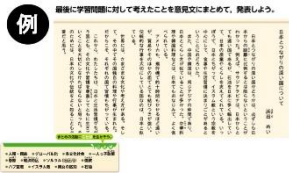


<p>5 振り返り・改善</p>	<p>7 交流をもとに意見文を加筆修正したり、今回の単元では触れられなかった他国の文化や習慣についても学ぼうとしたりする見通しをもつ。</p>	<p>例</p> 
------------------	---	--

3. 本時について (本時 1/7 時間)

(1) 本時の目標

○日常生活や既習事項をもとに、日本と特につながり深い国を見つけ、テーマを選択し、学習問題や学習計画を設定することができる。(学びに向かう力、人間性等)

(2) 本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
<p>導入 5分</p> <p>展開 ① 15分</p>	<p>1. 【全体の学び】【協働の学び】</p> <p>日常生活や既習内容を想起して、学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活で目にしたり耳にしたりする国名を付箋で書きだす。(オリンピックなどと関連させる)  <p>・日本とつながりが深いと思う国を1人につき1か国ずつ挙げる。各国と既習事項との関連を見出す。</p>  <p>・既習内容や各種資料から、日本は様々な国とつながりがあることを再認識する。</p>	<p>●【1人1台端末】</p> <p>Jamboard 活用 (共同編集)</p> <p>レディネスとしての素朴概念や内部情報を引き出す。協働により短時間での促進を図る。</p> <p>●【指導者用デジタル教科書】</p>  <p>・つながりが『深い』という言葉に着目させ、自分たちが列挙したものを見直し、整理する。</p>
<p>展開 ② 15分</p>	<p>2. 【個の学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> どのようなテーマで調べたりまとめたりしたいか自己決定をする。選択したテーマを発信する。 	<p>●【1人1台端末】</p> <p>Jamboard 及びスライド活用</p>

日本とつながりの深い国々について、どのようなテーマで調べればよいか。

- ・各自で学習問題や仮説を立て、スライドで表す。
- ・調べ学習の計画を立てる。

日本とつながりの深い

どのような だろうか？

自分のテーマ・調べたいこと → NEXT... 調べ方

- ・テーマを決定することでどの児童も自分なりの学習問題を立てられるようにする。

日本とつながりの深い国々について、どのような方法で調べればよいか。

終末
10分

について調べるために...

優先順位	使えそうなページや資料名などをメモ
1	教科書の...
2	図書室の本の...
3	NHK動画の...
4	

調べ方 → NEXT... 調べた内容

- ・教科書や学校図書館の本，関連動画などを選択肢としながら，課題解決のためにどのような調べ学習を行う必要があるか計画を立てる。

3. 【全体の学び】

- ・自分が決めたテーマや方法について，紹介し合う。
- ・自分と異なるテーマをもった仲間と協働しながら相互プレゼンテーションを行うことの見通しをもつ。

- 【1人1台端末】+【図書】
学校図書館を活用することで調べ方の選択肢を増やす。
- 【指導者用デジタル教科書】

学習計画を立てよう

調べること

-
-
-

調べ方

-
-
-

まとめ方

-
-
-

(3) 情報活用能力のプロセスと育成を図るポイント

課題の設定	◎	情報の収集	○	整理・分析	○	まとめ表現		振り返り改善	
-------	---	-------	---	-------	---	-------	--	--------	--

○課題の設定のポイント

オリンピックなど身近な話題を喚起したり，歴史など既習事項を想起したりするために，共同作業ツールであるJamboardの利活用が有効と考えた。「知っている国の名前をできるだけ多く挙げましょう」「日本とつながりが深い国はどこですか」などの指示や発問に対し，共同作業から導入を始めていく。課題設定をいきなり個人作業から始めてしまうと，各児童の内部情報や素朴概念に大きな個人差があるため，多面的で多角的な気付きを得られなかったり，具体課題設定まで至れなかったりする恐れがある。Jamboardを利活用することで，各児童のもつ既存概念を視覚化し，共有することができると考えた。書き込むと同時に文字対話が生まれ，全員の思考の活性化や主体性の促進を期待することができる。

思考ツールを活用することで，他者と自己の視点の同異を比較しながら，限られた時間の中で，全員が個々の学習テーマ設定に至ることが可能である。各個人がテーマを設定し，同時に他者のテーマを知ることによって，「自分が調べたことを友達に伝える」「自分が選択しなかったテーマは友達から教わる」という，単元後半や「まとめ・表現」のステップにおける伝え合いや見通しの必然性も生まれてくる。

▼【例】児童が作成したデジタルノート（調べた内容 感想 など）

スクールバスで通学する。日本と勉強時間はあまり変わっていない。朝学校につくと**国旗に忠誠を誓う**。授業は20人くらい、少し少ない。社会の教科書はとも分厚くて1年間使った次の6年生にゆずる。自分の意見を大切にスピーチや、ディベートの授業を盛んに行う。成績が良い子は**どんどん上の学年に進級していく**。幼稚園から高校までが義務教育で**授業料や教科書は無償**。昼食は給食もあるが**売店や、弁当の**ところもある掃除は担当の人がしてくれる。クラブがないが近くの**道場で武術を習う**学校は9月に始まり、6月末に終わり、夏休みは2ヶ月ある

バス

忠誠を誓う

武道

調べた内容(アメリカ)

コンピュータを使って授業をしている様子

卓球

一人っ子政策とは、人口上昇を防ぐために作られた政策 だが今は少子高齢化が増えて二人以上、生めるようになった

学校に7時過ぎに登校。給食は選択制で一度家に帰って食べる子もいたから、**昼休みは2時間もある**。1クラスが50人ほどの学校がある。最近では**英語やコンピュータの授業が重視**されている、大都市では様々な教科でコンピュータを活用している。※一人っ子政策があったため低学年のときには特別授業があり、譲り合いの心や年上の人を敬うなどを繰り返し教えられる。受験のための勉強が熱心で**成績が良い人には飛び級の制度がある**。遅い日は5時に帰宅早く帰った日は卓球をして遊んでいる。農村の子は家畜の世話や家の仕事をしている。1年生から900字の漢字を覚える

調べた内容(中国)

〈産業〉

- 広い土地を生かして、大型機械を使った農業をしている小麦、大豆、果物が多く作られ**世界中に輸出**されている
- アメリカは、宇宙開発の研究が進んでいて世界各国が参加、協力している
- 現代の生活を支えている技術や工業が盛んである。(日本は自動車や機械類を輸出している)

多文化社会

- 広い国土を持つアメリカでは、先住民の他にきた人々が一緒に生活している
- 様々な民族が世界中から集まっている

調べた内容(アメリカ)

調べたこと(言葉・文・写真・図・資料など)

日本と比べ、とても暑い。冬には気温が大きく下がる⇒雨・雪が降る地域もある

金曜日・土曜日が休み…砂漠で乗り物に乗って遊ぶ・みんなで集まってティータイムなどをしている。

言語:アラビア語 **イスラム教を信仰 1日**回聖地メッカに向かって祈りをささげる

祈り…イスラム教徒の義務の一つ。

イスラム教…豚肉を食べるのは禁止・聖地への巡礼などの1ヶ月間の日中に食べ物を口にしない断食の義務がある

イスラム教の聖地メッカ

調べた内容(サウジアラビア)

日本と比べて... ○○を比べると...

	日本と似ているところ	日本と大きく異なるところ
アメリカ	・ハロウィンがあり、好きな仮装をする。 ・コンピュータの授業を重視している。 ・経済大国のランキングの 上位 に入っている。(正確には1位)・高速道路もある。	・色々な人種、民族がいる・クラブ活動無し ・学校でお弁当や売店を使用する ・教科書は使ったあとに次の学年に譲る ・国旗に向かって 忠誠の誓い を行う
中国	・お茶、漢字、シューマイ、餃子、漢方薬、毛筆書写(中国から伝わってきたもの) ・箸を使う。・ 色の分別	・飛び級の制度 ・一人っ子政策 ・1年生から覚える漢字は 900字以上 ・給食は選択制 ・子供が仕事を手伝う
韓国	・主食がお米 ・箸やスプーンを使う ・一部の教科では、コンピュータを使用。・子供の日はある。(日本と同じ5月5日) ・給食もある。・上履きに履き替える。	・儒教を信仰している。(上下関係重視) ・親や年上の人を敬う。 ・旧正月の有無 ・マナー(茶碗を手に持たない)
サウジアラビア	・9年間の義務教育がある。 ・休みの曜日(日曜日) ・コーラン、アラビア語、音楽(サウジアラビアには無い)の部分以外の学ぶ教科	・宗教(イスラム教)を信仰している。 ・1ヶ月間断食の義務、お祈りをしなくてはならない。 ・男女の区別がハッキリとある ・気温

「日本とつながりの深い国々」の学習を通して分・気・思・考

⇒日本とつながりの深い国はお互いに助け合いながら生活しているということがわかった。どの国も日本の生活とは縁を切っても切れない関係になっていた。

中国や韓国は日本と似ているところが多かった。それに対し、サウジアラビアは日本と大きく違うところもあった。しかし、その国の良いところをたくさん知ることができてよかった。

国一つ一つ、暮らし方や決まり、食べ物などが全然違って面白かった。なぜその暮らし方になったのか、もっと掘り下げて調べてみたい。そして、日本とは違う暮らし方を体験してみたいと思った。

日本の暮らし方やマナー、食べ物などに改めて興味を持った。他の国とは違う日本の魅力をもっと知りたくなった。

まとめ

「日本とつながりの深い国々」の学習を通して分・気・思・考

⇒今まで日本しか関心がなかったというが、他国の知識は歴史の授業に出てくる程度しかないので、改めて調べてみると驚きました。 サウジアラビアと交流が多かったことなど

そして「石油の国」という認識しかなかったのでサウジアラビアが日本と交流が多かったとは知りませんでした。また、日本はどちらかというと豊かな国の部類に入りますが、サウジアラビアやアメリカなどのほうが、子供に対する 制度、支援の精度が高いと思いました。

さらに、民族・種族に対する考え方は「○○人だからキライ！」や「肌の色が違うからヤダ！」なんていう間違ったことが日本には広まってしまっているので、これからの社会にはSDGSも見習い、すべての種族が平和に、黒人・白人・黄人が偏見の目を気にせずに過ごせる世界ができるのではないかと思います。

まとめ

「日本とつながりの深い国々」の学習を通して分・気・思・考

外国の学校、暮らし方が日本とも違うところもあるし、調べた国の中でもそれぞれ違うところがある。

アメリカではバスで通えたり、みんなで忠誠を誓うという日本ではやっていないことがたくさんあったり、中国では昼休みが自由に家で帰って食べたりしていたり、サウジアラビアでは授業料が無料になったりもしている。ただ韓国では日本と、学校での暮らし方がほとんど一緒でびっくりした世界の学校で色々な暮らし方があるけれど、全部が全部全く違うわけではないことがわかった。特に韓国では日本と行っている文化、学校の暮らし方が一緒でびっくりした。

これから、違う国の学校での暮らし方、行事などを調べていきたい

外国には日本と同じ学校生活をしているところもあるが、日本がやっていないようなことをやっているところもある

まとめ

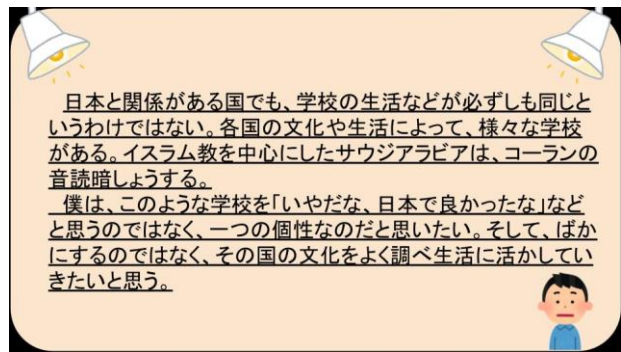
「日本とつながりの深い国々」の学習を通して分・気・思・考

日本はいろいろなところで、いろいろな国と関わっていることが分かった。サウジアラビアは、スポーツ(サッカー)や石油の輸出で日本のくらしを支えている。イスラム教という宗教を中心にしている、食事や生活に決まりがあることが日本との違いだということが分かった。

中国、韓国は、日本の生活や文化が似ているところが多かった。お正月をお祝いしたり、箸を使って食事をしたりするところが日本と似ているところだった。

アメリカは、フォークとスプーンで食事をすることが日本とは異なるが、文化を大切にしているのは、日本と似ているところだ。

世界には、日本と異なる文化や考え方がある。その中でその国にしかない文化や料理が生まれた。だから、それぞれの国で文化、生活、考え方が異なることがわかった。異なる習慣や文化をがいくつもあったけど、それぞれの習慣や文化を認め合うことが大切だと思った。



日本と関係がある国でも、学校の生活などが必ずしも同じというわけではない。各国の文化や生活によって、様々な学校がある。イスラム教を中心にしたサウジアラビアは、コーランの音読暗しようする。

僕は、このような学校を「いやだな、日本で良かったな」などと思うのではなく、一つの個性なのだと思いたい。そして、ばかにするのではなく、その国の文化をよく調べ生活に活かしていきたいと思う。

実践を終えて

情報活用能力の5つのステップをどの児童にも保障する上で、端末の活用は不可欠だったといえる。協働的な学びを通して課題を見出したり、個別最適化された方法で情報収集の質や量を増やしたりすることで、社会科の見方・考え方を育むような学びも促進できた。クラウドを活用して時間的・空間的な制限を緩和することで、自宅で調べてプレゼン資料を作成する、休み時間にオンラインで学び合う等、シームレスな学びが見られたことも成果である。